

## 第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン (素案)

### 【概要版】

北九州市では、教育基本法に基づき、地方公共団体の教育振興基本計画である「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」(計画期間：平成21年度～平成30年度、平成26年2月中間改訂)を策定し、子どもの教育に対する満足度を高めるとともに、市民の参画を進める取組みを総合的に推進してきました。

その結果、学力や体力の向上、文化芸術に触れる取組みの充実、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門人材の配置・充実によるきめ細かな対応、スクールヘルパー等の市民の教育参画の推進、経済界との連携による学校支援事業などの地域との連携の充実など、さまざまな成果や前進がありました。

前教育プランは昨年度をもって計画期間が終了したことや、令和元年5月に北九州市総合教育会議において、新たな「北九州市教育大綱」が策定されたことから、教育をとりまく社会状況等の変化や、これまでの成果・課題に対応する、新たな教育プランを策定いたします。

令和元年6月

## 1 法的根拠

教育基本法第17条第2項の規定に基づく地方公共団体が定める「教育振興基本計画」です。

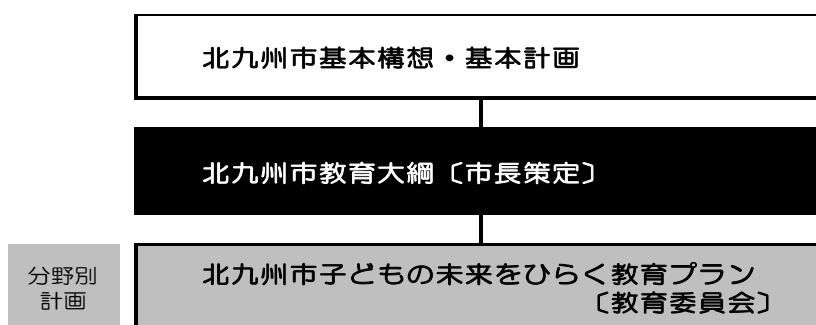
## 2. プランの位置付け

### (1) 計画の対象

このプランは、『子どもの学校教育に関する分野』を対象とします。

### (2) 計画の位置付け

このプランは、北九州市基本構想・基本計画（「元気発進！北九州」プラン）の子どもの学校教育にかかる分野別計画として位置付け、本年5月に策定された北九州市教育大綱の内容に沿ったものとしします。



### (3) プランの期間

計画期間は、令和元年度から令和5年度までの5年間とします。

## 3. プラン見直しの視点

### (1) SDGsの視点

本市は、昨年6月に『SDGs未来都市』に選定され、全市を挙げてSDGsの推進に取り組んでいます。また、本年5月に新たな「北九州市教育大綱」が策定され、その基本方針・副題として「SDGsの視点を踏まえたシビックプライドの醸成」が盛り込まれています。

このことから、プランでは、教育活動全体をSDGsに示される17の目標の視点で整理するとともに、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を実現するための施策や環境教育などSDGsの視点を踏まえた学校教育を推進していくこととしています。

### (2) 新たな時代を切り拓く力を育む視点

人口減少・高齢化、グローバル化、さらには、AI等の技術革新など、私たちを取り巻く環境が急速に変化していることから、グローバル化に対応するための「英語教育」の充実、AI等の技術革新の進展に対応する「未来を見据えた教育の情報化」等を新たに盛り込んでいます。

### (3) 働き方改革の視点

教職員のワーク・ライフ・バランス等の充実を図ることが、教職員の健康保持や一人一人の児童生徒に向き合う環境づくりにもつながることから、施策の柱に「働きがいのある学校づくり」を盛り込んでいます。

## 4. 第2期プランの体系

### (1) 《vision》～本市学校教育の目標～

#### ①目指す子どもの姿

地方創生には郷土への誇りと愛着が不可欠であり、予測困難な時代に、新たな価値を創り出し、自立し思いやりのある社会を作り出していく能力や態度を育むことが重要であることから、本プランに基づき、北九州市の学校教育が目指す子どもの姿を次のとおり定めます。

- ◎ 本市に誇りをもつ子ども
- ◎ 新たな価値創造に挑戦する子ども
- ◎ 自立し、思いやりの心をもつ子ども

#### ②目標達成に向けた取組方針

本プランを確実に推進するためには、子どもの学校教育に関わる、学校・教職員、教育委員会が一体となって取組みを進めることが必要なことから、目標達成に向けた取組方針を定めます。

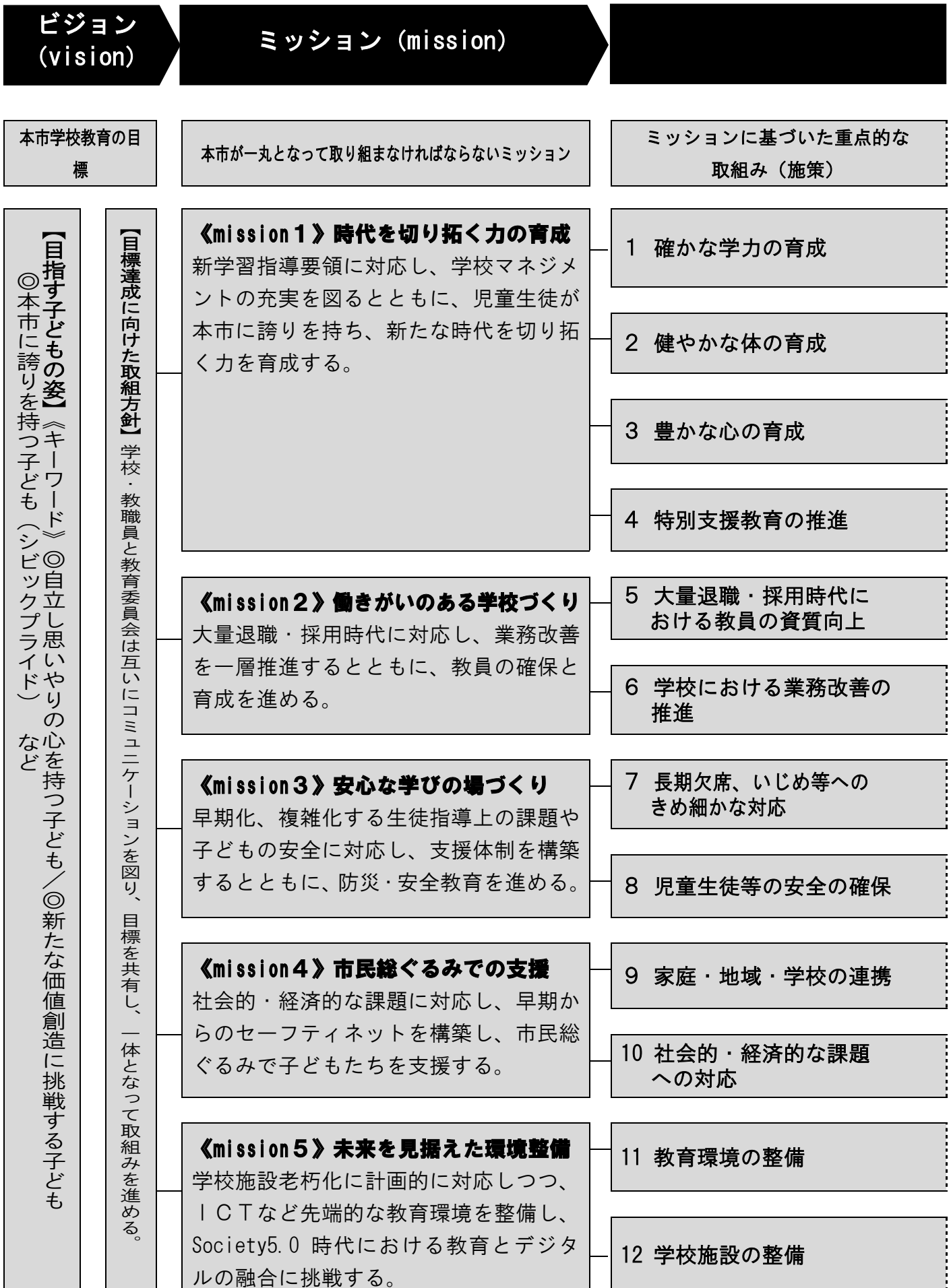
**学校・教職員と教育委員会は、互いにコミュニケーションを図り、目標を共有し、一体となって取組みを進める。**

### (2) 5つの《mission》と12の《action》

本市が本プランの計画期間である今後5年間で果たすべき5つの『ミッション(使命)』を掲げています。また、各ミッションを達成するために必要な12の『アクション(施策)』を設定し、重点的な取組みやその方向性を示しています。

ミッション(使命)	アクション(施策)
mission 1 時代を切り拓く力の育成	1 確かな学力の育成
	2 健やかな体の育成
	3 豊かな心の育成
	4 特別支援教育の推進
mission 2 働きがいのある学校づくり	5 大量退職・採用時代における教員の資質向上
	6 学校における業務改善の推進
mission 3 安心な学びの場づくり	7 長期欠席、いじめ等へのきめ細かな対応
	8 児童生徒等の安全の確保
mission 4 市民総ぐるみでの支援	9 家庭・地域・学校の連携
	10 社会的・経済的な課題への対応
mission 5 未来を見据えた環境整備	11 教育環境の整備
	12 学校施設の整備

## 5. 第2期プランの全体像



# アクション (action)

主な取組み	各施策を推進するための個別計画・方針等
(1) 学校マネジメントの充実 (2) 学力の向上 (3) 学校における読書活動の推進 (4) 英語教育の推進 (5) 本市の特色を活かした教育活動の推進	新・北九州市子ども読書プラン
(1) 体力の向上 (2) 学校における食育の推進 (3) 健康の保持 (4) スポーツに親しむ機会の充実	北九州市学力・体力向上アクションプラン（第2ステージ）
(1) 道徳教育・文化芸術に触れる機会の充実 (2) 人権教育の推進	《参考》他部局の分野別計画 北九州市スポーツ振興計画
(1) 相談支援体制の整備 (2) 特別支援教育を推進する体制の充実 (3) 就労支援 (4) 理解促進	《参考》他部局の分野別計画 北九州市文化振興計画
(1) 人材の確保 (2) 人材の育成・資質の向上 (3) 女性活躍推進	北九州市特別支援教育推進プラン
(1) 業務改善の推進 (2) 適正な部活動の推進	北九州市教育委員会 人材育成基本方針
(1) 長期欠席（不登校）への対策 (2) いじめ等問題行動への対応 (3) 専門人材の配置・活用	学校における業務改善プログラム（第2版）
(1) 防災・安全教育の推進 (2) 重篤な事故の防止 (3) 食物アレルギー事故及び感染症等の防止	北九州市いじめ防止基本方針
(1) 家庭との連携 (2) 地域との連携	《参考》各学校で策定 学校安全計画
(1) 子どもの貧困など経済的な課題の対応 (2) 社会的な課題への対応 (3) 早期からの生活習慣の確立と小学校教育への円滑な接続	《参考》他部局の分野別計画 北九州市生涯学習推進計画
(1) 教育の情報化推進 (2) 学校規模の適正化	《参考》他部局の分野別計画 元気発進！子どもプラン（第2次計画）
(1) 安全で快適な学校施設の整備	北九州市立小・中学校の学校規模適正化の進め方
	北九州市学校施設長寿命化計画

教職員支援プロジェクト「一人にさせない」チーム学校体制づくり

## 6. 第2期プランとSDGsの関係

SDGsの視点を踏まえた学校教育を推進するため、教育活動全体をSDGsに示される17の目標の視点で整理しています。



## 7. 策定スケジュール

時期		
平成 30 年度	3月	3/23 教育委員会会議①〔次期プランの基本的な考え方〕
	9月	9/21 教育委員会会議②〔懇話会の開催について〕
	10月	10/16 ◆第1回 懇話会 意見聴取〔基本的な考え方等〕
	11月	11/19 ◆第2回 懇話会 意見聴取〔ミッション・施策体系等〕
	12月	12/13 教育委員会会議③〔ミッション・施策体系等〕
	1月	1/28 ◆第3回 懇話会 意見聴取〔各論（1回目）ミッション①③〕
	2月	2/14 教育委員会会議④〔各論①報告〕
	3月	3/20 ◆第4回 懇話会 意見聴取〔各論（2回目）ミッション②④⑤〕
令和 元 年度	4月	4/25 教育委員会会議⑤〔各論②報告〕
	5月	5/20 ◆第5回 懇話会 意見聴取〔素案について〕
		5/23 教育委員会会議⑥〔素案について〕
	6月	6/24 常任委員会報告〔素案について〕
	7月	●パブリックコメント
	8月	8月上旬 ◆第6回 懇話会 意見聴取〔パブリックコメント結果について〕
常任委員会報告〔パブリックコメント結果について〕 教育委員会会議⑦〔成案の決定について〕		
9月	9月議会〔成案報告〕	

## 8. 策定に係る懇話会の開催状況

	日 時	議 題
第1回	平成30年10月16日（火） 15:00～16:30	(1) 現状把握 ～本市学校教育をとりまく状況、 これまでの取組み・現状～
第2回	平成30年11月19日（月） 15:00～16:30	(1) 次期教育プラン施策体系等について ア. ビジョンについて イ. ミッション及びアクションについて  (2) 指標について
第3回	平成31年1月28日（月） 15:00～17:00	(1) 本計画とSDGsの関係について  (2) 各論について ① mission 1 「時代を切り拓く力の育成」 ② mission 3 「安心な学びの場づくり」
第4回	平成31年3月20日（水） 10:00～12:00	(1) 各ミッションのキャッチフレーズについて  (2) 各論について ① mission 2 「働きがいのある学校づくり」 ② mission 4 「市民総ぐるみでの支援」 ③ mission 5 「未来を見据えた環境整備」
第5回	令和元年5月20日（月） 15:00～16:30	(1) 第2期北九州市子どもの未来をひらく 教育プラン（素案）について



## 9. 策定に係る懇話会・構成員名簿

R1.5.20現在

	氏名	所属等	備考
学識経験者 (5名)	今村 浩司	西南女学院大学保健福祉学部教授	
	大友 智	立命館大学スポーツ健康科学部教授	
	窪田 由紀	九州産業大学人間科学部教授 臨床心理士	
	古城 和子	元北九州市教育委員会委員 元九州女子大学人間科学部教授	座長
	坂本 憲明	福岡教育大学教育学部教授	副座長
地域・ 企業関係者 (4名)	菊竹 倫子	TOTO株式会社人財本部人財部 ダイバーシティ推進グループ グループリーダー	
	蔵原 雅子	公募構成員（子どもひまわり学習塾指導員、ブックヘルパー）	
	後藤 加奈子	公募構成員（元北九州ESD協議会職員）	
	中野 多恵	「北九州の企業人による小学校応援団」事業推進室長	
大学生 (1名)	木稻 由梨奈	九州女子大学人間科学部4年	
保護者 (1名)	曾我部 駿介	北九州市PTA協議会会長	
教職員組合 (1名)	石崎 朗	北九州市教職員組合執行委員長	
(市立) 学校関係者 (3名)	福田 安秀	北九州市立中学校長会会長（木屋瀬中学校長）	※
	米田 敏彦	北九州市立小学校長会会長（花尾小学校長）	※
	鬼塚 久美子	北九州市立特別支援学校長会副会長（小倉南特別支援学校長）	※

任期：平成30年10月1日～令和元年9月30日（※は、改選により平成31年4月1日～令和元年9月30日）

合計15名（うち女性8名） 女性参画率 53.3%